

平成16年度 愛美会入社式

樋谷荘前の桜が満開の4月1日、愛美会の入社式が行われました。

今年度は、樋谷荘へ介護福祉士2名、アイリスには支援相談員1名と介護福祉士3名が新たに配属される事となりました。

入社式では、理事長から「福祉や医療を取り巻く環境はますます厳しくなっています。職員一人一人に勉強する姿勢が無ければ、時代の流れに取り残されてしまいます。新規採用者の皆



入社式にて（理事長挨拶）

さんも資格をもって入社してきておりますが、今日からが新たな勉強のスタートです。「人生常に学生たれ」と言われますが、常に学ぶ姿勢を持って前向きに仕事に取り組んで欲しい。」と挨拶がありました。

続いて、新規採用職員を代表して、アイリスの支援相談員の発令を受けた遠藤健介さんより「常に自分の考えや探求心を持ち、一つでも多くの事を吸収して行くという貪欲な姿勢で、それぞれの分野のスペシャリストを目指して一日でも早く先輩方やご利用者のお力になれるよう日々切磋琢磨します。」と力強く宣誓が行われました。

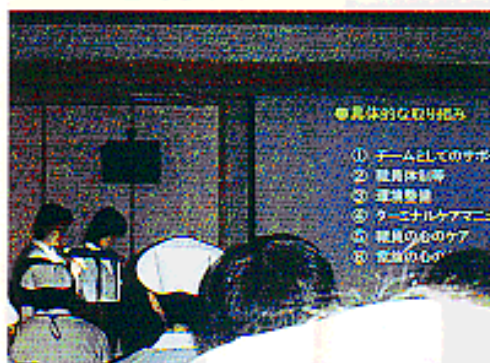
最後に、在職職員を代表し、アイリスの介護福祉士、喜井仁美さんより「高齢社会を担う一員として、また、愛美会の一員として、福祉の現場に関わる私

たちが担う役割はますます重要になります。業務を行うに当たって、分らないことやうまく行かない事も多くあり、戸惑い、悩むこともあるかもしれませんが、利用者の方が掛けてくれる言葉や笑顔に感動したり、先輩に励まされたりと、喜びを感じられる瞬間が必ずあります。初心を忘れず、ケアの質の向上を目指し、高齢社会を支える仲間として、一緒に頑張っていきたいと思います。」と歓迎のことばがかけられました。



（樋谷荘前も、桜の名所に。）

石川病院グループ学会に参加しました



(発表風景)

去る2月28日、石川病院において「第5回 石川病院 グループ学会」が行われました。

この学会は、医療に携わる石川病院職員の皆さんが、毎日の仕事の中で発見したことや患者様に対する思い・治療や医療体制の実績などを発表することにより、自らの仕事のレベルアップを図るために毎年行われているものですが、医療と福祉の連携の視点から、今回、愛美会の職員も参加させていただきました。

それぞれの施設から発表された取り組みなどについてご紹介します。

【介護老人福祉施設 樋谷荘】

『樋谷荘におけるターミナルケアへの取り組み』

発表者：看護職員 井川由美子 他看・介護職員

全国老協が重点実践目標として掲げる「ターミナルケア」について、平成13年度からの、樋谷荘での取り組みを事例を挙げて報告しました。チームケアのあり方やマニュアルの作成、そして実際の看取りを通して学んだことから、「死」に向かい合う事は「今をどう生きていただくか」という樋谷荘における「一期一会」のケアの考え方について考察しました。

『口腔ケアの実践を通して』

発表者：介護職員 石川 久美 他看・介護職員

個別ケアへの取り組みのひとつとして、毎食後に実施している「口腔ケア」について、利用者の皆さんの変化など色々な視点から考察しました。

【介護老人保健施設 アイリス】

『身体拘束ゼロへの歩み』

発表者：看介護主任 土谷まり子

質の高いサービス提供を行うために、平成13年度から身体拘束廃止委員会を中心にした拘束廃止までの取り組みについて報告しました。拘束廃止はそれ事体が最終目的ではなく、一人一人のケアを見直し、質の高いケアを実践する過程で不可欠の条件であるとの認識ができました。

『発展ある通所を目指して～現在の通所リハビリの必要性～』

発表者：通所リハビリ 介護副主任 星川 崇

医療機関から退院された患者様にとって、重要な在宅支援サービスのひとつである「通所リハビリテーション」での取り組みやサービス内容について報告しました。

【グループホーム 虹の里】

『グループホームの現状と役割について』

発表者：虹の里 事務長代理 児山 良之

全国的にも急増するグループホームの役割とケアの視点について報告しました。痴呆症の高齢者が増える中で、その社会的役割にも触れ、新たなケアの形について考察しました。

ケアハウスのロビーからは満開の桜が！

今年もケアハウスのロビー・食堂の北側の窓一面に桜の花が咲き誇っています。桜の名所はたくさんありますが、施設の中で、日々の食事をしながらお花見が出来るのは虹の里くらいでしょう。入居者の皆さんも毎年この時期を楽しみにされているようです。

4階の展望浴室からは、川之江の街並が一望でき、四季おりおりの景観が楽しめるケアハウスへ一度遊びに来てみませんか？

一人暮らしで淋しい思いをされている人。食事の仕度に困っている人。虹の里は、そのような方が、仲間と一緒に明るく、楽しく、日々の生活を送れるところです。日曜・祝祭日に関係なく、いつでもお気軽に見学できます。入居に関する詳しいお問い合わせは下記担当者までどうぞ。



☆ ケアハウス虹の里 ☆ TEL 58-0012 担当：児山・星川

今年もお花見の季節がやってきた！



グループホーム虹の里とアイリスは、土居町のすすきヶ原へ



樋谷荘は、池田町の水際公園へ

各施設とも毎年趣向を凝らし、いろいろな場所へお花見に出かけます。土居町のすすきヶ原では、何十本もある桜の木が全て満開の見ごろで、風が吹く度に花びらが宙を舞い、まさに桜吹雪そのもので、詰め掛けた花見客からは歓声があがる程でした。池田町の水際公園でもお年寄りが来てくれるのを待っていたかのような満開の桜で、絶好の花見日和となりました。入居者の皆さんも普段とは違う風景の中で、おいしそうにお弁当を食べながら、最高の笑顔を見せてくれました。

肌で感じる季節感、忘れかけている記憶を呼び返すリハビリとなります。来年も全員そろって、お花見に出掛けましょうね。

自立支援を応援します!! (アイリス通所リハビリテーション リハビリ続編)

前号でパワーリハビリテーションについてご紹介しましたが、その続編として今回、通所リハビリテーションで行っている、理学療法士や言語聴覚士による個別のリハビリテーション、パワーリハビリテーションを通して、成果のあがった方のご紹介をさせていただきます。



(個別リハビリの訓練)



(上腕の訓練)



(下肢の訓練)

昨年6月より骨折等の後遺症の為、通所リハビリテーションをご利用されているTさん。

利用開始時は杖歩行で、一人では外出するのも難しく、日常生活においても不自由な思いをされておられました。リハビリ訓練により現在では、杖を持たずに元気に朝、夕10分間の散歩を一人でできるほどまでになりました。

それでは、現在の通所リハビリテーションの感想をTさんにインタビューさせていただきました。

(通所リハビリテーションの雰囲気はいかがでしょう?)

「職員も元気一杯で明るくて、相談相手にもなってくれる。男性の利用者も多いし、利用日が楽しみなんよ。」

(当施設のリハビリはいかがでしょう?)

「リハビリの先生も優しいし、集中して訓練が出来る。家の段差も気にならんようになったよ。」

(最後にこれからどんなことにチャレンジしてみたいですか?)

「これからもリハビリをがんばって、畑仕事をしたいんよ。」

少し照れながら答えて下さいましたTさん。現在はパワーリハビリにも取り組んでおり、上腕、下肢のトレーニングも行っておられます。

また、昨年6月より週3回、言語療法を実施されているAさん。当初は「おはよう」のあいさつなどがつまってしまい、あまり自分からは話そうとされませんでした。

しかし現在ではあいさつから始まり、ご家族の方のお名前なども話されることが多くなり、他のご利用者、職員に対しても社交的で、表情も明るくなり、訓練にも意欲的に取り組んでおられます。



(言語療法の訓練)

以上、特に成果のあった2名の方々のご紹介をさせていただきましたが、現在の身体機能を維持する為にもリハビリは重要な要素となっており、アイリス通所リハビリご利用者の皆様も、日々一生懸命、訓練に取り組んでおられます。

これからも、それぞれの方に最適なプログラムをたて、自立支援のお役に立てればと思っております。是非、アイリス通所リハビリテーションを利用してみませんか!